

目標達成計画

作成日: 平成 24年 2月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	職員配置が以前より少なくなったり、利用者の機能低下により転倒のリスクが高くなったりしたことで、徐々に外出支援の頻度が減少してしまっている。	個々の要望や能力に応じて外出支援を増やす	利用者や家族の要望を聞いたうえで外出計画を作成する。ケアプランの中にも盛り込み、実践し評価する仕組みづくりをする。	12ヶ月
2	33	看取りの利用者を抱え、不安を抱えている職員がいる。	安心して看取り介護に臨む事ができる。	協力病院や訪問看護ステーションとの協力体制を整えるとともに、職員研修で、起こりうるあらゆる場面の手順を学び習得する事や、イメージトレーニングをするなど、不安材料をひとつずつ克服していく。	12ヶ月
3	38	画一化された生活になりがち。	その人らしい暮らしの継続	ともに過ごす時間を増やし、思いを汲み取り、その人らしさを継続できるよう支援していく。家族との面談の機会を増やし、互いの役割の確認をした上で、相互理解を深め家族とホーム職員が協力して支えていく。	6ヶ月
4	2・5	地域から孤立した事業所という感じがある。	地域や行政との交流を深める	行政の担当者と顔なじみとなり、情報交換が出来たり、運営推進会議のメンバーを通して地域との関係性を深める。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。